

# 2006年3月期中間決算説明会

Brand Vision

赤ちゃんを育てることが、  
楽しく幸せだと思える社会をつくる。

コンビ株式会社  
代表取締役社長

松浦 弘昌

2005年11月16日

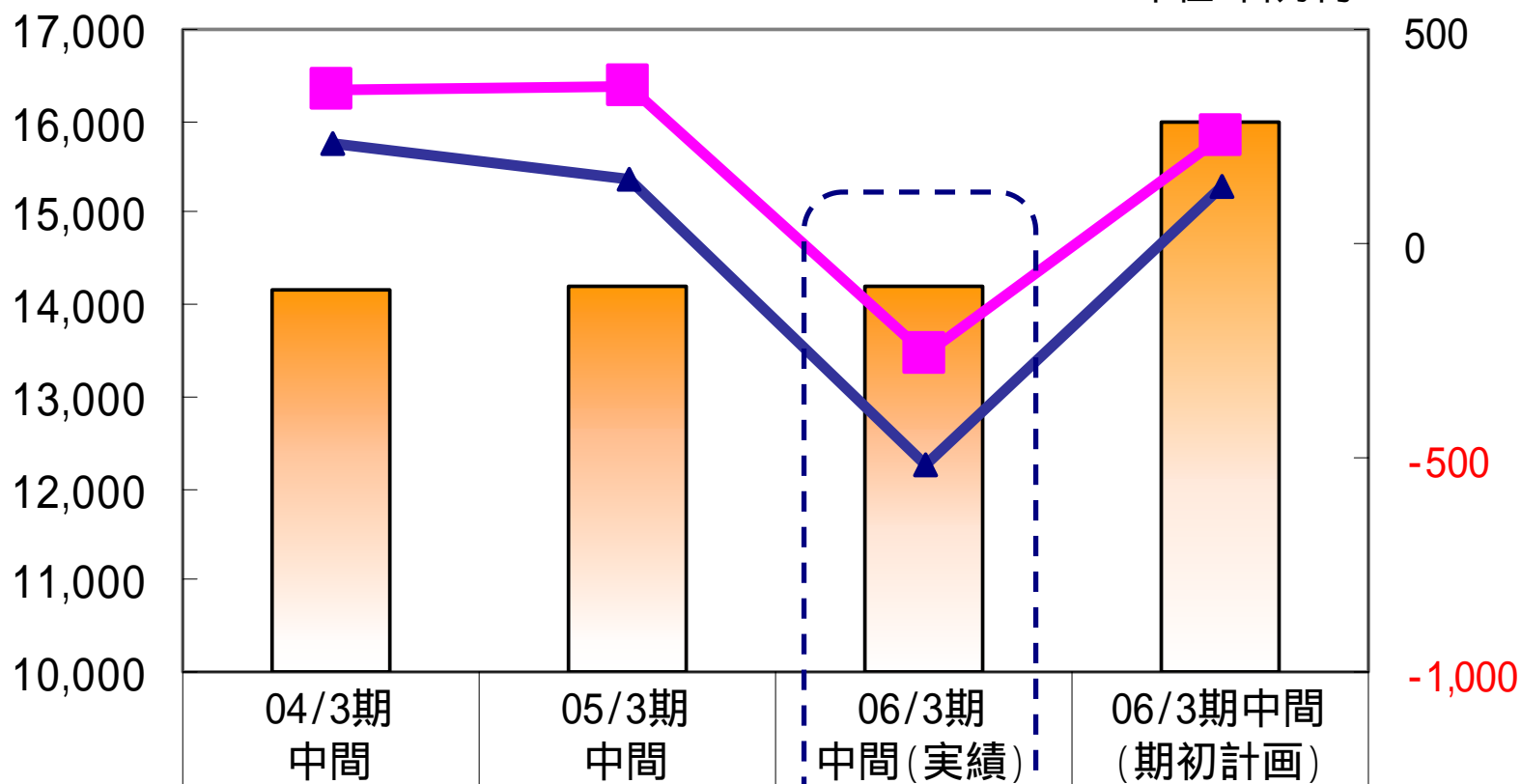
# Agenda

- I. 2006年3月期 中間実績概要
- II. 2006年3月期 中間期 レビュー
- III. 2006年3月期 下半期の取組み
- IV. 2006年3月期 通期見通し

# 2006年3月期 中間実績概要

# 2006年3月期 中間業績概要

単位: 百万円



■ 売上高	14,163	14,186	14,188	16,000
■ 経常利益	361	363	-255	250
▲ 当期純利益	236	154	-516	130

# キャッシュフロー

(連結)

(単位:百万円)

	04/9期	05/9期	増減額
営業活動による キャッシュフロー	1,013	284	-728
投資活動による キャッシュフロー	-573	-135	437
財務活動による キャッシュフロー	365	-227	-593
現金及び現金同等物 による換算差額	5	81	75
現金及び現金同等物 の増減額	812	3	-809
現金及び現金同等物の 期首残高	3,480	4,730	1,250
現金及び現金同等物の 中間期末残高	4,292	4,733	441

キャッシュフロー増減の主要因

- 営業活動:  
中間純利益の減少 約670百万円
- 投資活動:  
定期預金の払戻 + 約440百万円
- 財務活動:  
短期借入による調達額の減少  
約590百万円

# 貸借対照表

(連結)

(単位:百万円)

	05/3月期	05/9月期	増減額
現金及び預金	5,113	4,950	162
売上債権	8,008	7,417	591
有価証券	1,058	964	94
たな卸資産	4,818	5,236	417
その他	1,474	1,130	345
<b>流動資産合計</b>	<b>20,471</b>	<b>19,696</b>	<b>775</b>
有形固定資産	5,859	5,834	25
無形固定資産	665	651	14
投資その他の資産	1,521	1,616	95
<b>固定資産合計</b>	<b>8,046</b>	<b>8,101</b>	<b>55</b>
<b>資産合計</b>	<b>28,517</b>	<b>27,797</b>	<b>719</b>

買掛債務	4,160	3,800	360
短期借入金	1,231	1,256	26
その他流動負債	2,337	2,409	72
<b>流動負債合計</b>	<b>7,727</b>	<b>7,465</b>	<b>262</b>
<b>固定負債合計</b>	<b>3,985</b>	<b>3,995</b>	<b>10</b>
<b>負債合計</b>	<b>11,712</b>	<b>11,460</b>	<b>251</b>
少数株主持分	28	51	23
<b>資本合計</b>	<b>16,777</b>	<b>16,286</b>	<b>491</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>28,517</b>	<b>27,797</b>	<b>719</b>

<b>借入金 + 社債</b>	<b>4,230</b>	<b>4,256</b>	<b>26</b>
-----------------	--------------	--------------	-----------

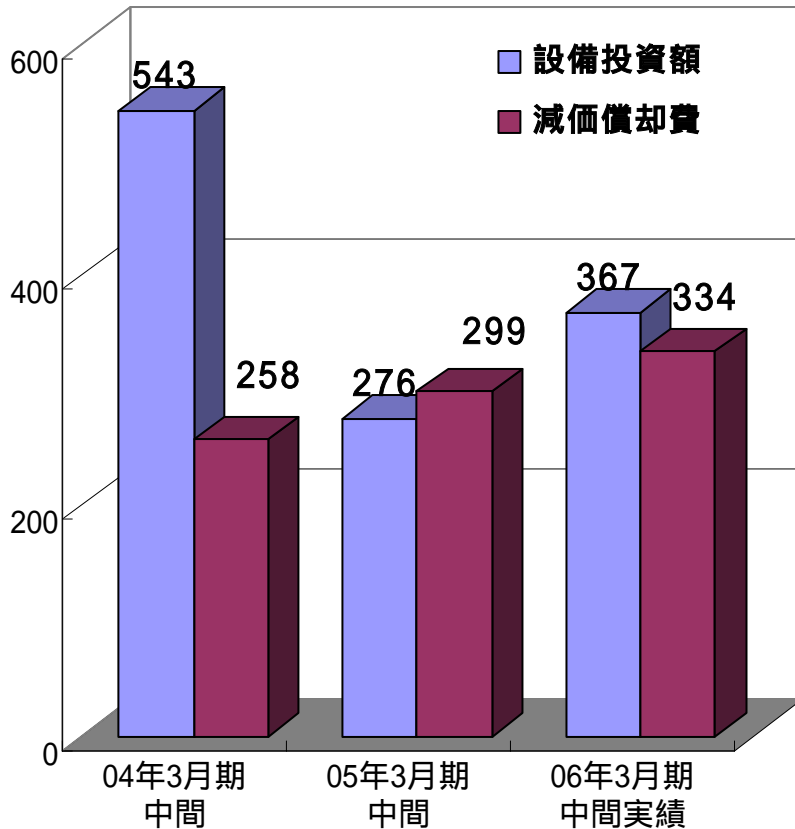
増減の主要因

- 売上債権：  
前期第4四半期と当期第2四半期の売上高格差の影響。  
\* 第4四半期に売上高集中傾向あり。
- 棚卸資産：  
売上計画未達による在庫増加。
- 買掛債務：  
前期第4四半期と当期第2四半期の仕入額格差に影響。  
\* 第4四半期売上高集中傾向による。
- 資本合計：  
当中間期純損失の影響。

# 設備投資、減価償却費、研究開発費

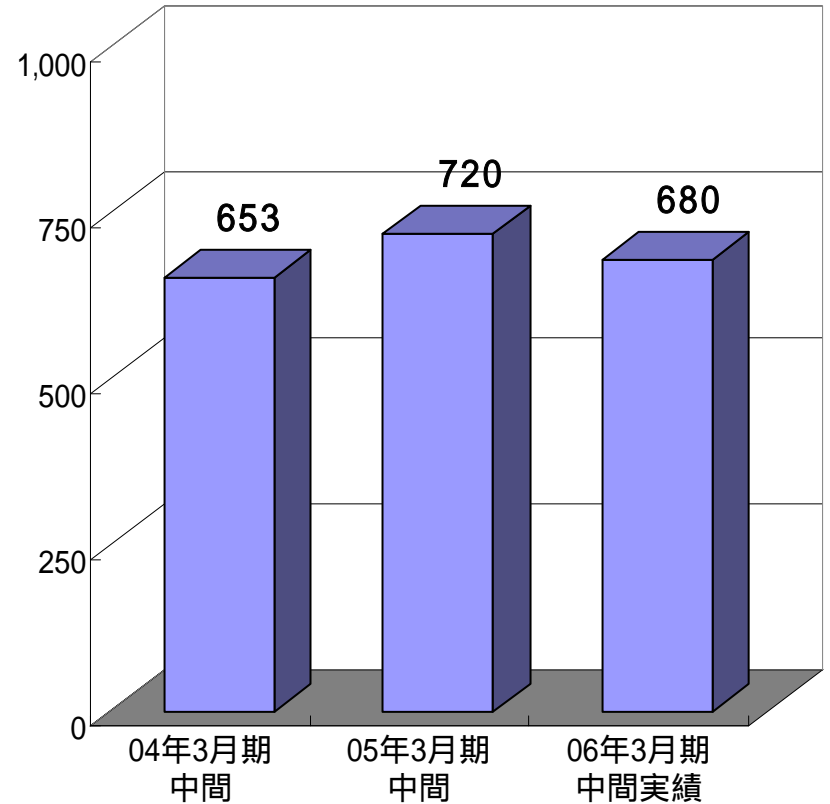
## 【設備投資・減価償却費】

単位:百万円



## 【研究開発費】

単位:百万円



# .2006年3月期 中間期 レビュー

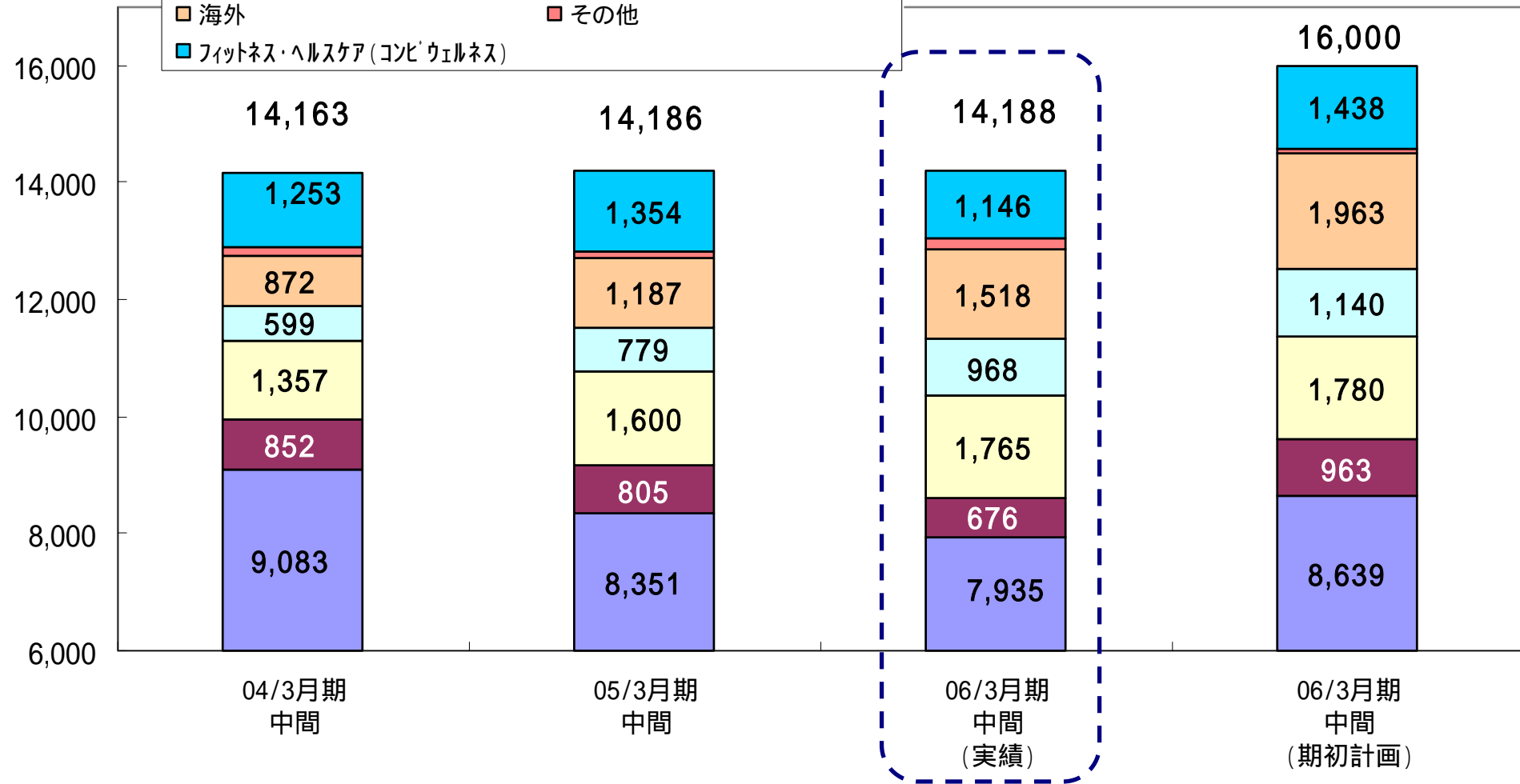
# 2006年3月期 中間期レビュー概要

- 売上高計画比について
  - ・全事業領域で未達成(連結計画比89%)
- 売上高前年比:不振の主要因
  - ・国内チャイルドシート(前年同期比80%)
  - ・玩具の不振(前年同期比84%)
  - ・シルバーカー自主回収を含むウェルネス事業の不振(前年同期比85%)
- 売上高前年比:押上げ要素
  - ・海外事業の売上増(前年同期比128%)
  - ・アパレル事業売上増(前年同期比110%)
  - ・ベビーカー事業の復調(前年同期比105%)

# 事業別売上高の状況(連結・中間期)

(百万円)

- ベビー用品
- アパレル
- 海外
- フィットネス・ヘルスケア(コンビウェルネス)
- 玩具
- 外出環境支援・保育(コンビウイズ)
- その他



# 事業別レビュー

## チャイルドシート(国内販売)

### 【市場環境】

- 主要取引先の在庫圧縮施策、低価格施策の打ち出し
- 市場規模の推移(当社推計)  
2000年4月の法制化から5年経過。使用期間の一巡(義務対象は6歳まで)とリユース加速により市場規模縮小。市場規模:05年3月末:80万台 05年度想定:75万台(当社推計)

- 競合  
低価格商材の投入。

### 【自社の施策と結果】

- 07年の基準改訂を見越した新製品の投入  
時期尚早の感あり。
- 既存アイテム落ち込み  
幼児用(0歳~4歳)チャイルドシート(ゼウスターン)、ロングユース製品(プリムロング)



**ブオンキッズEG**¥52,000(税別)  
国内初のリクライニング付きジュニアシート(1~11歳頃)  
05年3月末発売



**ブオンジュニアEG**¥23,000(税別)  
背もたれ付きで3才~11才頃まで使えるジュニアシート。



**ゼウスターンEG**¥69,800(税別)  
乗せ降ろしが簡単な360°回転のターンシート(新生児~4才頃)



**プリムロングEG**¥58,000(税別)  
1台で着用義務期間年齢をカバー(新生児~7歳頃)

# 事業別レビュー

## 玩具

### 【市場環境】

- 知育・ベビー玩具市場が玩具市場全体の低迷を受け停滞。

### 【自社の施策と状況】

- 積み木シリーズの販売不振。木製玩具の発売延期

くっつき積み木  
シリーズ



## ウェルネス事業(フィットネス、ヘルスケア)

### ➤ フィットネスビジネス

- ・競合: 大手民間フィットネスチェーンが機器を自前調達(自社開発等)
- ・流通: 新設物件の減少、

介護保険法施行前の様子見により、施設向け製品導入見送りの傾向

### ➤ ヘルスケア(介護用品等)ビジネス

- ・シルバーカー新製品(スル-ソ)の自主回収
- ・介護保険補助金抑制の動き

高価格ポータブルトイレがケアマネージャーの推奨を受け難くなる。

中価格帯製品の対応遅れ(下期には中価格帯上市)

# 事業別レビュー

## ベビーカー (国内販売)

### 【市場環境】

- 新A型の登場による市場構造の変化も落ち着きを見せる  
市場規模: 04年3月期 71万台 05年3月現在 約66万台 05年9月末現在 約68.6万台

### 【自社の施策と状況】

- 新製品の投入によりほぼ計画どおり  
\* 新A型新製品投入 5機種11アイテム投入 (例年は2~3機種が平均的)

ココットコンパクトW EG  
定価: ¥72,000 (税抜き)



ココットコンパクトW EG  
定価: ¥68,000 (税抜き)

ココットコンパクトW EG  
定価: ¥62,000 (税抜き)



ココットコンパクトW EG  
定価: ¥57,000 (税抜き)

ココットコンパクトミニEG  
定価: ¥50,000 (税抜き)



# 事業別レビュー

## 米国(北米)市場

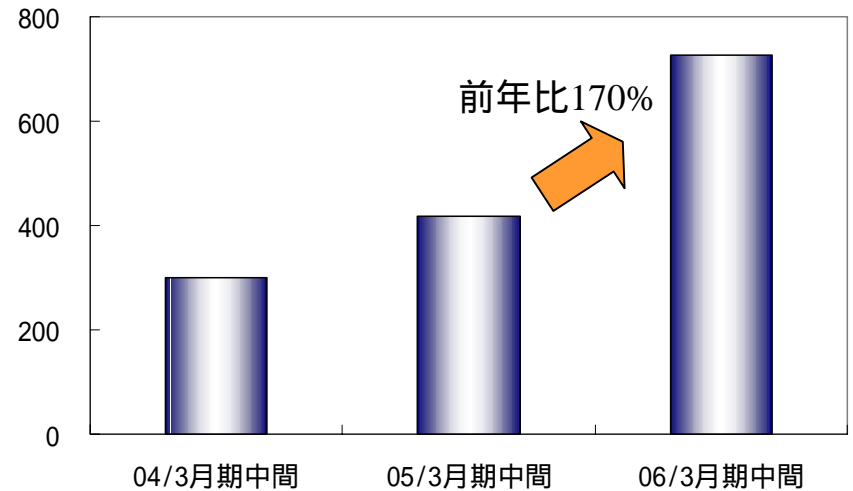
- ▶ 前年同期比約170%の売上高大幅増  
\*マーチャンドライジングの立て直しが奏功

## アジア市場

- ▶ 中国市場の販売体制のリストラ継続

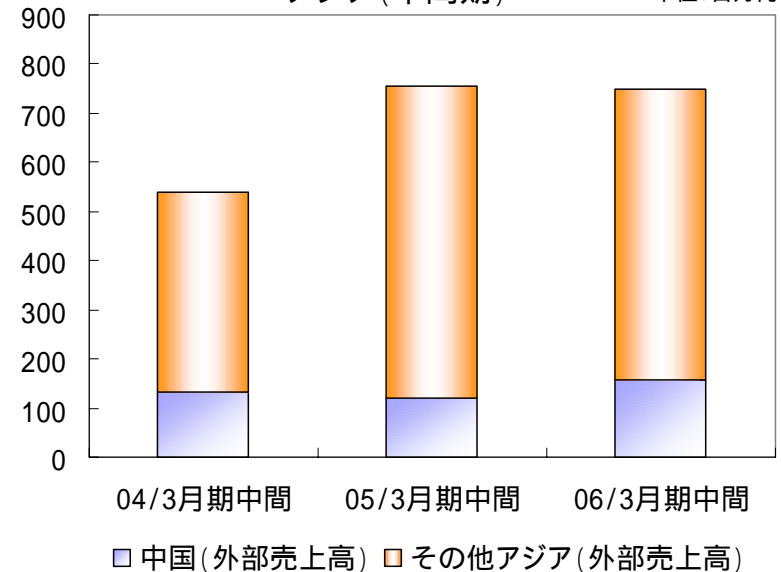
北米(中間期)

単位:百万円



アジア(中間期)

単位:百万円



# その他事業、他

## 【アパレル事業】

- 製品の機能性・デザイン性の高評価と、通販のみというダイレクトセールスのチャネル選択がマッチし、継続して売上高を伸ばす。
- 新ブランド立ち上げ(04年12月)  
タレント千秋をデザイナーにした新ブランド『リボンカスケット』 テレビ、雑誌等の取扱多数。  
Combi mini ブランドの次なる柱として育成

## 【保育事業】

- ベビー用品総合メーカーとして社会的な要請に応え、ブランド価値を向上させるべく事業を継続し、且つ一層の利益体質強化も図る。
- 保育園数  
04年3月末 7園 05年3月末11園(白金台、金沢八景等) 05年9月末 12園

## 【主要な特別損失】

- 南浦和テクノセンター水害、シルバーカー自主回収費用、減損損失(保育園1園)

# ・ 下半期の取組み

# 2006年3月期 下期以降の対策

## 全社での取組み

- 海外事業、アパレル事業をグループの成長ドライバーと位置付ける。
- 国内事業は安定収益獲得を目指す。

## 市場別の取組み

- 国内市場  
新製品の継続投入。
- 海外市場  
収益貢献のステージへ移行する準備を着実に実行する。

# 事業別施策(下半期)

## チャイルドシート(国内販売)

➤ 現行市場のニーズにあった新製品の上市:2機種5アイテム。



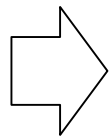
ゼウスターEG¥69,800(税別)  
「だっこシート」プロモーションと連動して  
2機種5アイテム投入。

- 『だっこ型』キャンペーンの実施(TVCM、雑誌等)
- ・CM:10月末~11月初旬に全国10放送局、15秒CM
  - ・その他:育児雑誌広告、当社ホームページ



呼称変更と商標登録により『だっこ型』を市場へ浸透。

『イス型』  
チャイルドシート



『だっこ型』  
チャイルドシート



\* 世界で使用されているチャイルドシートの90%はだっこ型です。  
コンビは新生児からのチャイルドシートに『だっこ型』を強く推奨しています。

『だっこ型』:『だっこ型』はコンビの登録商標です。

# 事業別施策(下半期)

## ベビーカー(国内販売)

### ➤ 新製品の継続投入

- ・2005年12月から翌1月にかけて新製品の投入  
(2機種4アイテム)
- ・上半期新製品「ココットコンパクト」シリーズの  
『超軽量・コンパクト』というコンセプトをさらに追求

### ➤ 全国で新製品特別内見会の実施

東京内見会



リッコ展示ブース



リッコW EG  
¥68,000(税別)



『超軽量&コンパクト』  
をコンセプトにプロモーション実施

# 事業別施策(下半期)

## 玩具事業

- ▶ 新製品(新ジャンル)の遅延解消  
・木製玩具(ファブーナ・シリーズ)  
・インテリアとの調和を迫及したハッピーパームシリーズ  
(05年度グッドデザイン賞受賞)

木製玩具  
ファブーナ・  
押し車  
¥12,000(税別)



ハッピーパーム  
メリー・ジム  
¥12,800(税別)



## ウェルネス事業(フィットネス、ヘルスケア)

- ▶ 介護予防製品の拡大  
モタサイズ新シリーズの導入
- ▶ 中価格帯ポータブルトイレのアイテム拡張  
新製品:『優福CP328』定価32,800円(税別)を10月に発売。  
(介護保険補助金抑制による高価格商材伸び悩みに対応)
- ▶ シルバーカーの信頼回復及び再拡売

モタサイズ MC1  
¥2,000,000(税別)



優福トイレ  
チェアCP328  
¥32,800(税別)



キャリアスルーンHi  
¥25,800(税別)

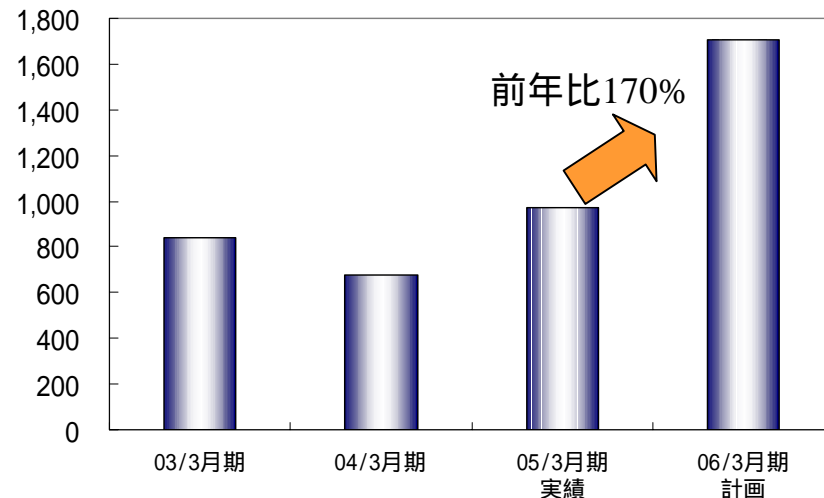


# 海外ベビー (米国・アジア向けベビー用品)

北米(通期) 単位:百万円

## 米国(北米)市場

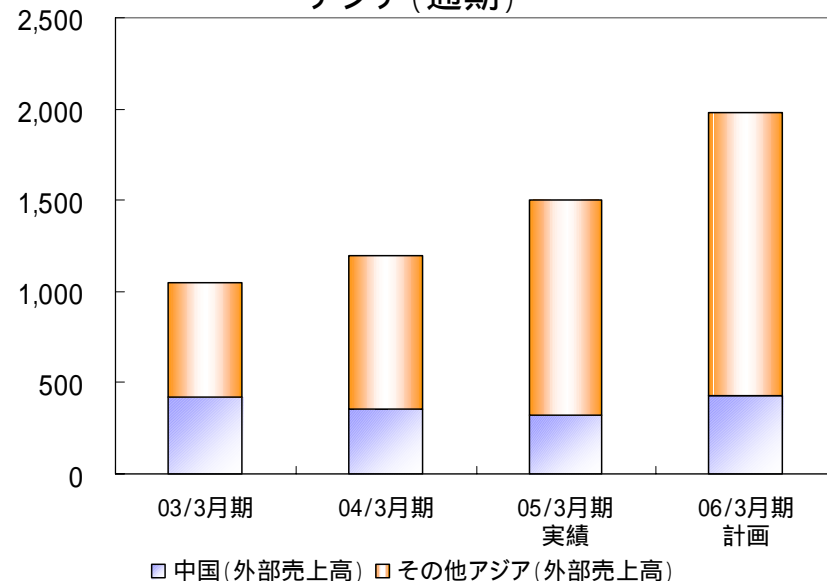
- 通期でも上半期と同等の伸びを目指す。  
06年3月期上半期は前年比約170%
- 販売チャネルの再整備 専門店ルート、  
ベビーザラス等の強化継続



## アジア市場

- 中国市場は利益を重視し、新体制のもと  
沿海部富裕層中心に展開
- 東南アジア市場収益貢献を維持しつつ  
新カテゴリーの製品を投入する。

アジア(通期) 単位:百万円



# その他事業(下半期)

## 【アパレル事業】

- 現在の戦略を継続して目標達成を目指す。
  - ・対象年齢の拡大や製品群の拡張なども検討。



## 【保育事業】

- 質の高い保育サービスの提供を最優先。
- 新規増園は、サービスの質と収益性を考慮して慎重に進める。

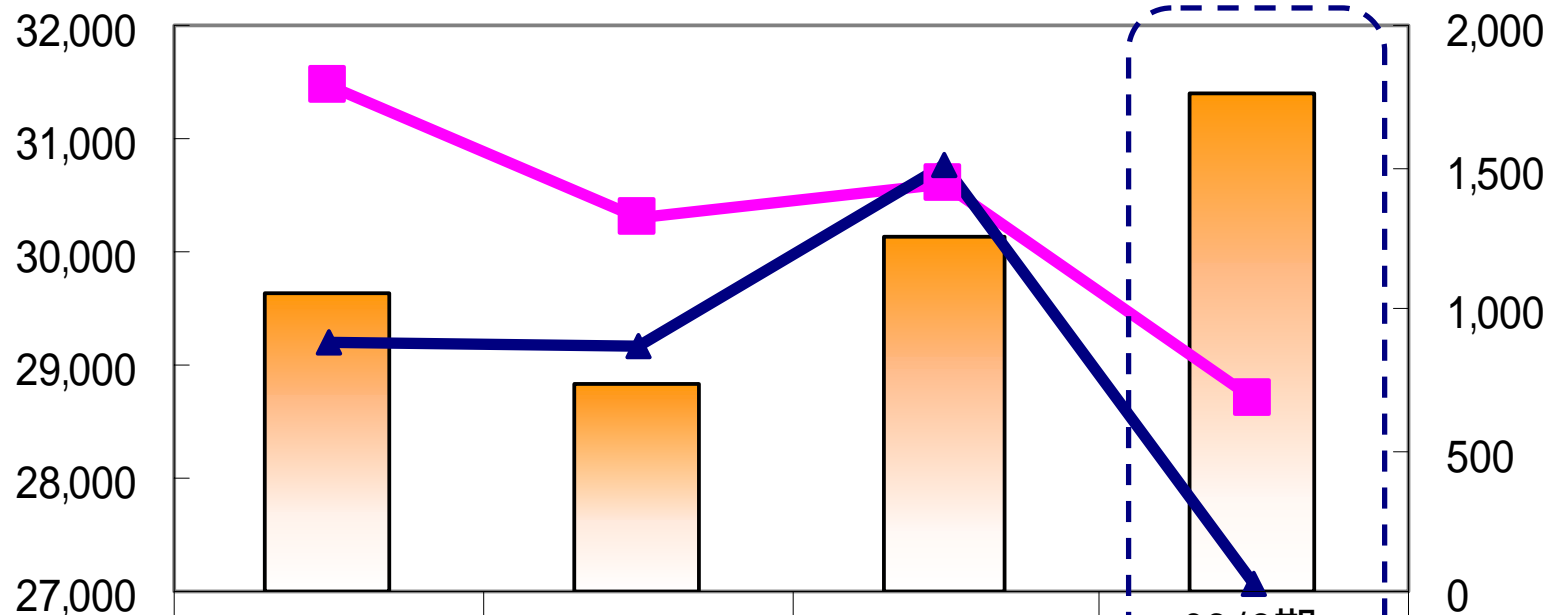
Combi PLAZA






・ 2006年3月期 通期見通し

# 2006年3月期 通期見通し

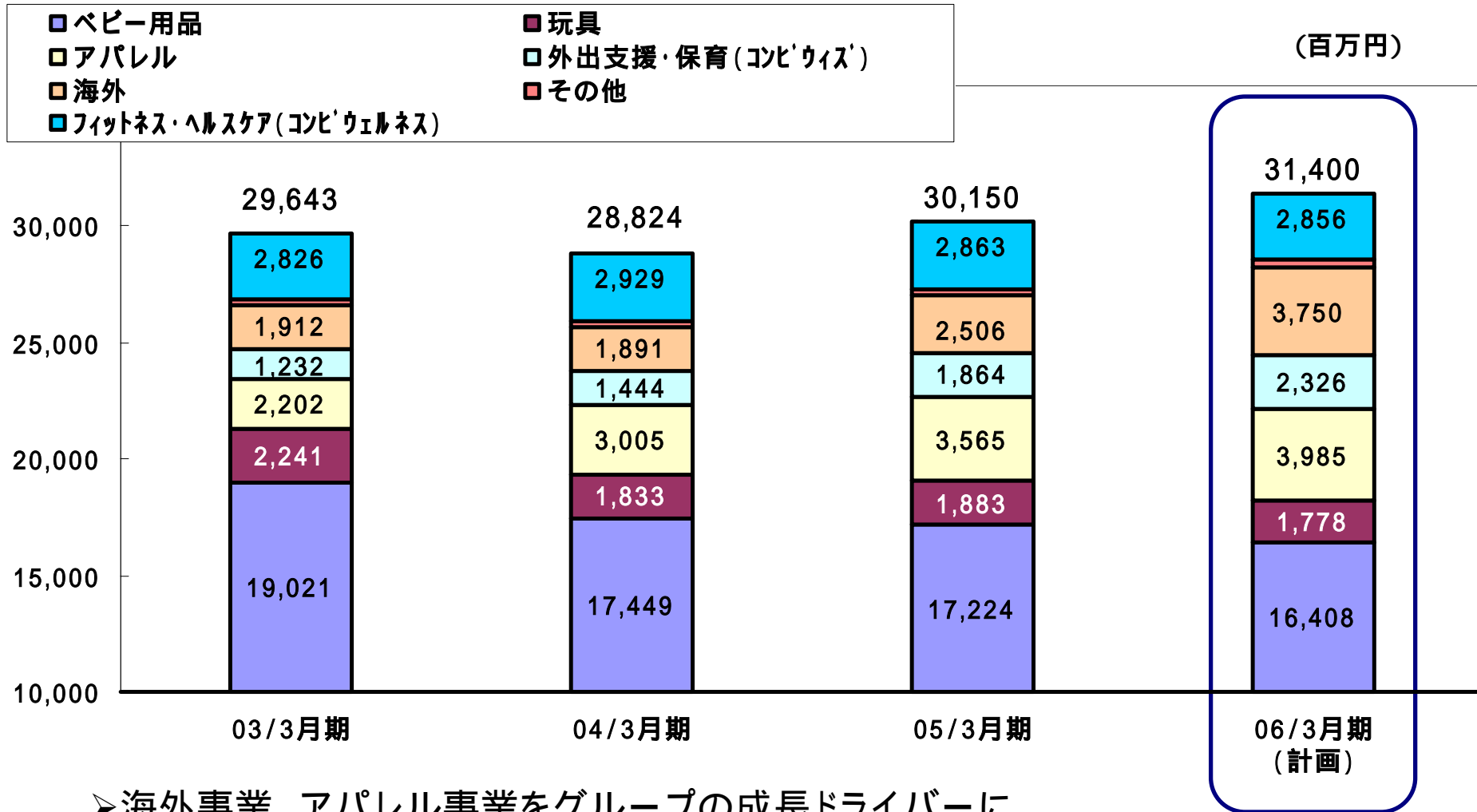
単位: 百万円



 売上高	29,643	28,824	30,149	31,400
 経常利益	1,785	1,318	1,436	680
 当期純利益	877	861	1,513	30

03/3期	04/3期	05/3期	06/3期 計画
29,643	28,824	30,149	31,400
1,785	1,318	1,436	680
877	861	1,513	30

# 事業別売上高見通し(連結・通期)

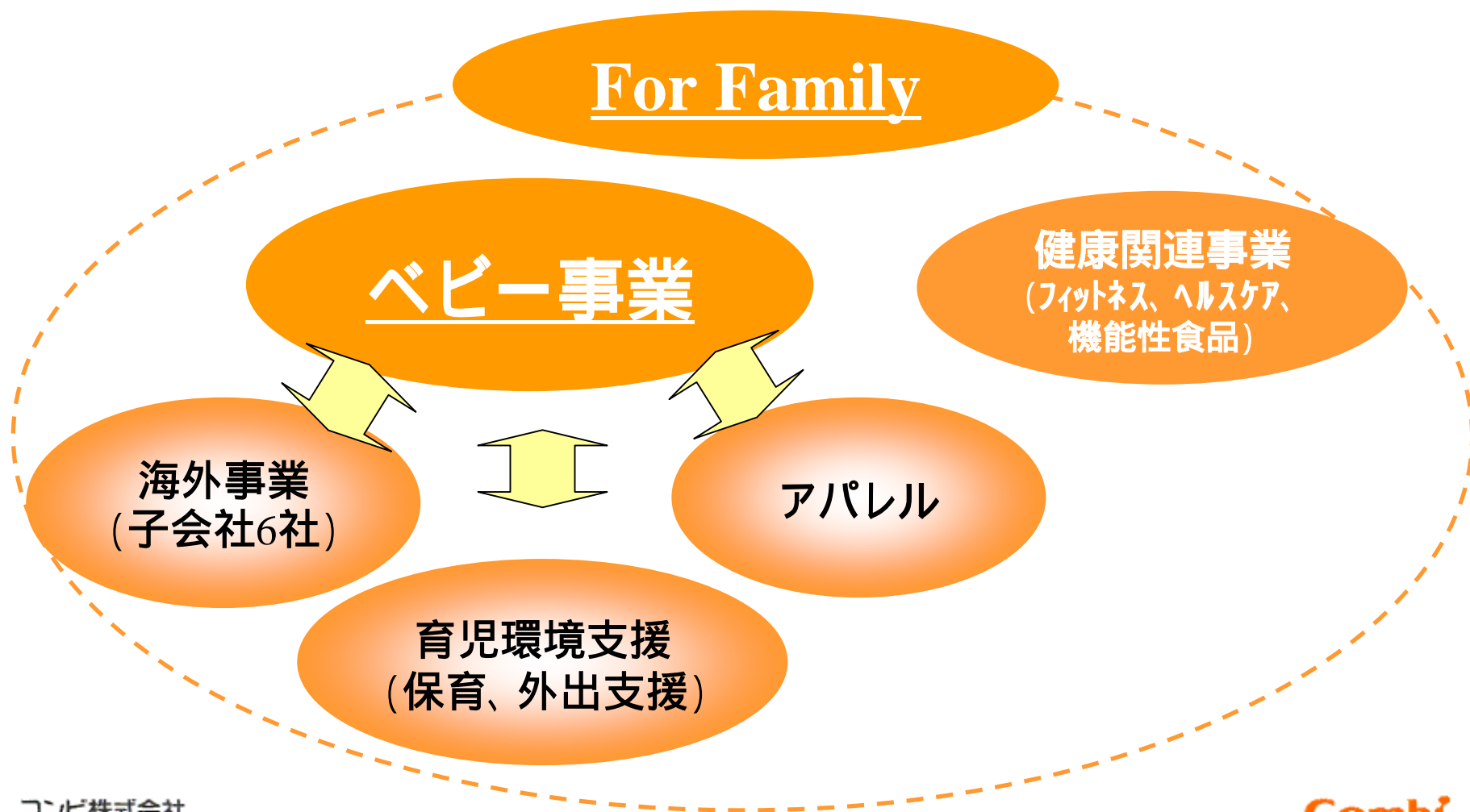


- 海外事業、アパレル事業をグループの成長ドライバーに。
- 国内事業は安定収益獲得を目指す。

# 今後の展開

# 今後の方針

ファミリーを対象とした事業を行い  
ベビー事業をコアにして選択と集中を行っていく。



ご静聴ありがとうございました。

Combi

<当社問合せ窓口>

コンビ株式会社 経営企画室 IR担当 阿部 知泰

TEL : 03-5828-7607 E-Mail : abet@combi.co.jp

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が、様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。